

① 件名
(仮称)石巻市白浜ビーチパークの設置について
② 施策等を必要とする背景及び目的(理由)
<p>【背景】</p> <p>北上町白浜地区の白浜海水浴場は、市内有数の観光地として毎年1万人以上の観光客が訪れ賑わっていたが、東日本大震災の津波により壊滅的被害を受けた。その後、白浜地区の再生と北上地区の観光振興のため、今年度、7年振りに海水浴場の再開を果たした。</p> <p>また、白浜海水浴場に隣接する白浜集落の高台移転に伴い、集落跡地を被災低平地整備事業としてデイキャンプ場等の整備を進めている。</p> <p>【目的】</p> <p>海と自然に触れ合う場を提供することで、北上地域の観光振興と活性化を図るもの。</p>
③ 根拠法令及び総合計画又は個別計画との整合性
<p>【根拠法令】</p> <p>なし</p> <p>〔総合計画との整合性 総合計画・震災復興基本計画の位置付け：<input checked="" type="checkbox"/>有・無〕</p> <p>石巻市震災復興基本計画</p> <p>施策大綱3 自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる</p> <p>大区分 4 地域資源を活かす</p> <p>1 観光業・施設の再生復興</p>
④ 提案に至るまでの経過(市民参加の有無とその内容を含む。)
<p>平成26年 6月 平成26年度第12回庁議にて白浜地区における砂浜再生跡地整備構想を審議・了承</p> <p>平成26年12月 白浜地区低平地整備事業に係る住民懇談会</p> <p>～平成27年 6月</p> <p>平成30年 7月 建築設備新築工事完了</p>
⑤ 主な内容
<p>1 施設名称</p> <p>(仮称)石巻市白浜ビーチパーク</p> <p>2 所在地</p> <p>石巻市北上町十三浜字白浜地内</p> <p>3 施設概要</p> <p>(1) 建築・設備</p> <p>東屋棟：鉄骨造平屋建て 延べ床面積：284.50㎡ (倉庫兼詰所15.00㎡、調理用洗い場18.00㎡)</p> <p>シャワー棟：木造平屋建て 延べ床面積：96.05㎡ (トイレ男女、多目的トイレ、更衣室男女、多目的シャワー)</p> <p>屋外シャワー</p> <p>完成時期：平成30年7月31日</p> <p>(2) 附帯施設</p> <p>駐車場：約5,800㎡(普通車171台)</p> <p>デイキャンプサイト：約6,000㎡(フリーサイト)</p> <p>完成時期：平成31年3月予定</p>

4 管理方法

地元自治会で組織する組合へ管理業務委託を予定

5 利用方法

施設利用の届出は、北上観光物産交流センターを予定

イベント等による施設の占有については、北上総合支所が総合的に判断し許可する。

6 利用期間等

開設日：平成31年4月1日

利用期間	利用時間
毎年4月1日から11月30日まで	午前8時から日没まで

※ただし、屋外シャワー、多目的シャワー、更衣室については毎年7月1日から8月31日までの午前8時から午後4時まで

7 施設利用料金

無料

⑥ 実施した場合の影響・効果（財源措置及び複数年のコスト計算を含む。）

【影響・効果】

白浜海水浴場の利用客をはじめ、海や自然を愛好する市民など、交流人口の増加が見込まれる。

また、北上観光物産センターを利用窓口とすることで、地域観光PRと地域産業の振興が図られるとともに、隣接施設である「川のビジターセンター」が実施する「学び・体験の場」事業との相乗効果が期待できる。

【財源措置】

概算維持管理経費 2,480千円（平成31年度当初予算要求額）

内訳：業務委託料、浄化槽清掃手数料、消耗品費、光熱水費等

※参考：海水浴場は約5,680千円/年

⑦ 他の自治体の政策との比較検討

【類似施設】

加護坊山キャンプ場（大崎市田尻）

達居森と湖畔自然公園キャンプ場（大衡村）

三滝堂ふれあい公園（登米市東和町）

※何れも利用料金は無料

⑧ 今後の予定及び施行予定年月日

平成31年2月 平成31年市議会第1回定例会へ（仮称）石巻市白浜ビーチパーク条例の制定について提案（平成31年4月1日施行予定）

（仮称）石巻市白浜ビーチパーク条例施行規則制定

（平成31年4月1日施行予定）

3月 附帯施設工事完了

4月 （仮称）石巻市白浜ビーチパーク利用開始

⑨ その他